

〔文化・伊方町〕

基本は「博物館」

ウチの博物館には、心強い仲間がいます！その名は「佐田岬みつけ隊」。
'05年結成で、現在隊員55人。伊方町の博物館―町見郷土館の強力助っ人集団であり、究極の博物館利用者たちです。

普通「博物館」というと、どんな印象をお持ちですか？お力強い閉鎖的なハコモノ？地域との結びつきは薄いとお思いの方もいるかもしれません。一方、地域づくりの手法で、町並みや地域をまるごと「博物館」に見立て、建物や景観等を巡回して、活性化を目指そうとする活動も思い出されますね。しかし私の描く博物館像は、いずれともやや異なります。



町内での文化財見学会

学習支援（交流）の4つ：コトバは難しそうですが、このバランスが重要です。少なくとも来館者数や効率性だけで評価される施設ではないのです。

で、「佐田岬みつけ隊」は、この4つを学芸員と町の人々で一緒に進めようとしています。要するに、博物館Ⅱ「展覧会を見に行く場所」でなく、地域をあれこれ調べたり、古いものを整理・保存したりといったコトを、みんなと一緒に進められる場所を目指しているのです。

例えば町民寄贈の館蔵レコードのリストを作ったり、町内の古い石造物や神社の絵馬をコツコツ記録したり…。もちろん

高嶋 賢二
町見郷土館

ん、専門性が求められるため、みんなで行うのが難しい調査もありますし、人によって興味関心の向き不向きもあります。しかし都合よい「地域資源」だけ探すことはしません。調査対象は、商品価値云々でなく、とにかくすべて。森羅万象を悉皆的に受け止めて記録し、地域の基礎資料を整えようとしています。この地味でかつたるい活動の積み重ねを共に経験してきた隊員たちは、郷土をますます深く知り、愛着を深めています。郷土をいろんな切り口で深く見られるようになっていくのです…ちよつとずつ。

ま、移り変わりの早い現代だからこそ、地域の素性と生い立ちを受け止める「博物館」。さあ、皆さんの地域でも、お近くの「博物館」を育ててみましょう。